

# World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.51

チベット



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のアダム・ラビエールさんとジェニファー・ステイントンさんです。

Hello!ジェニーです。今月は皆さんと一緒にアジア大陸を横断旅行します。ここからそれほど遠くないのに昔から行きづらく魔力や神秘に包まれている場所、チベットに行きたいと思います。

チベット高原はよく「世界の屋根」と呼ばれ、息をのむようなヒマラヤ山脈を含む世界最高峰の山々に抱かれています。そこは平均海拔が4,500mで地球上で最も高い地域です。チベット語で「大地の母」として知られるエベレスト山はチベットとネパールとの国境線上に雄大にそびえ立っています。



チベット語で「大地の母」として知られるエベレスト山はチベットとネパールとの国境線上に雄大にそびえ立っています。

チベットは日本の5倍の面積で、人口は約300万人しかなく、広く開放的な空間が豊富にあるところです。雪で覆われた山々は澄んだ青い空を貫き、激しい太陽光は薄い大気を通して荒野にある濃紺の湖や黒いヤク（チベットの長毛の野牛）の一群を照らします。多くのチベット人は田舎の小さな町や村に住んでいて、そしてヤクはチベットの生活の中でも重要な役割を果たしています。牛乳確保のために飼育されているヤクはよく家族の一員としてみなされ、その家族によって飾られ、尊敬されています。ヤク乳をヨーグルトやバターそしてチーズにし、それらすべてがチベットの日常食の大部分を占めています。ヤク



バターはバター茶を作るために使われ、その濃厚で塩辛いバター茶が、寒さや高度から身を守っているチベット人に信心深く飲まれ、一日に50杯飲むことも珍しくありません。

チベットの首都で一番大きな都市のラサでさえ、いまだに比較的小さな農村です。人口は約25万人で弘前市と青森市の中間にあたります。ラサ市には多くの歴史的建造物が残っていて、その中の一つである見事なポタラ宮は、首都のマルポリの丘の頂上に優雅に立っていて、まるで自然の地形の一部であるかのような印象を与えます。



ポタラ宮は、昔からチベットの精神的指導者として考えられているダライ・ラマが代々住居としています。ダライ・ラマは1391年からチベットを統治し、チベット文化で思いやりの神様である「千手観音」の生まれ変わりだと信じられています。ダライ・ラマが亡くなると信奉者たちは次の生まれ変わりが誰なのか、いたるところに手掛かりを探しに行きます。その捜索には数年間かかることもよくあり、その結果ふさわしい年齢の子どもが次のダライ・ラマに任命され、そのような周期は繰り返します。チベットは伝統が染み付いている国で、起伏に富んだ美しさに囲まれた国です。2006年にはラサと中国の西寧（せいねい）を結ぶ世界最高地を走る青藏鉄道が開通しました。この世界最高地を走る鉄道は、わたしたちにチベットの魅力を味わう機会を与えてくれるでしょう。

